

寒りの本当に来るの

急に寒く存るのので 氣をうけて 一人々々

いわれは

寒さが来ると

と不が子えり 朝六時 二十六度

これおろ さがりのだ

たかく 気温をみる

短と存してしるた 寒く存りて度ふり

二十五度

今日は シキバクトも冬用にかえた

用意したのた 寒いの これかう存のた

ろうか

思うよりに存る事とはあり

寒く存る存いのた こしたたことけあひ

エツセイがの下がきかたをうていり

チエツクをしてみかくことにはした

全部 かきあはる

でも寒く存る ぐろすうねてしるた

朝五時のニコースで

十六度と言つていり

やはり 寒くなつて来たのだ

と思ひ ほかのものも 手にもち取れぬ

おきたが それはいくらも 寒くない

温度計 二十三度

温度調整 何もしない

ここだけ 寒さがよくなってし 静か

いそいそと 玄関をみつけて 外を見る

しつかり <sup>靴</sup>みつけて いるくう ちがう

静かな様子だ

左に 玄関をみつけて 取手をつた

やはり 寒くつてい

温度 二二度 十六度

やはり 寒さか ここをよみて くれたのだ

これから 来る冬も そうして 深い

寒さの来る日 いい日 ですね だうだ

20 22.  
10/6